

# APICHATPONG IN THE WOODS

アピチャッポン・イン・ザ・ウッズ2018

船出の前に——もう一度アピチャッポン映画を見る

2018.8/11[土] — 9/7[金] @シアター・イメージフォーラム

『世紀の光』『ブンミおじさんの森』『光りの墓』+ 短編『国歌』

ここでしか見られないアピチャッポン監督のメッセージ動画も上映

# 個展「亡霊たち」、シアターピース「フィーバー・ルーム」を経て 次の長編映画が待ち遠しい〈タイの天才、アピチャップン・ウィーラセタクン〉

初長編『真昼の不思議な物体』(2000)から大きく注目され、『ブンミおじさんの森』(2010)で、ついにカンヌ映画祭最高賞であるパルムドールに輝く。美術作家としても世界的に活躍し、2016年には東京都写真美術館での個展「亡霊たち」開催。2017年にはTPAMで「フィーバー・ルーム」が上演され、日本でも多くのファンを集めている。現在は次の長編映画『MEMORIA』を南米コロンビアで撮影するため、準備中。これまで故郷であるタイ東北部の伝説や民話、個人の記憶、土地の記憶から数々の映像作品を制作し続けてきたアピチャップンの新たなステージの始まりです。次回作に出会う前に、何度見ても発見が生まれ変わり続ける、その代表作をスクリーンでご覧ください。

## 新しいステージを前に、代表作をもう一度スクリーンで。

〔上映作品〕

### 世紀の光

Syndromes and a Century

2006年 | タイ、フランス、オーストリア | 105分 | DCP

映画は2つのパートに分かれている。前半は地方の緑豊かな病院、後半は近代的な白い病院が舞台。登場人物の多くも重なり、医師の恋の芽生えなどのエピソードは2つのパートで反復される。「これは愛についての映画で、医者だった両親から着想を得たものです。この映画には母の記憶、亡くなった父の記憶、そして僕自身の記憶もミックスしています。この映画の2部構成には自分自身に起きた変化や故郷の町に起きた変化が反映されているといえます。そして現場では違う種類の人間が家族のように作り直しました。僕にとって特別な映画です」(A.W.)

ヴェネチア国際映画祭公式出品 /  
ドーヴェル・アジア映画祭グランプリほか



### ブンミおじさんの森

Uncle Boonmee Who Can Recall His Past Lives

2010年 | イギリス、タイ、ドイツ、フランス、スペイン | 114分 | 35mm

腎臓の病に冒され、死を間近にしたブンミは、妻の妹ジェンをタイ東北部の自分の農園に呼び寄せる。そこに19年前に亡くなった妻が現れ、数年前に行方不明になった息子も姿を変えて現れる…。「今、タイには“不適切”な活動を禁止し、それらを根こそぎにする政府機関が存在します。そのこととブンミおじさんの物語、おじさんが信じていることを関連づけないわけにはいきません。ブンミおじさんは、何か消えゆくもの、すなわち昔ながらの映画館や劇場のように廃れてゆく何か、現代的な風景の中には居場所のなくなった古いスタイルの象徴なのです」(A.W.)

カンヌ国際映画祭パルムドール /  
カイエ・デュ・シネマ ベスト1ほか

### 光りの墓

Cemetery of Splendour

2015年 | タイ、イギリス、フランス、ドイツ、マレーシア | 122分 | DCP

タイ東北部の町。かつて学校だった病院。原因不明の“眠り病”にかかった兵士たち。ある日、病院を訪れたジェンは前世や過去の記憶を見る力を持った若い女性ケンと知り合い、眠り続ける兵士イットの面倒を見始める…。「3年ほど前、ある病院で、謎めいた病気にかかった40人の兵士が隔離されているというニュース記事を読みました。僕は自分が育ったコーケンケの病院と学校のイメージをその話に重ねました。当時、僕は眠ることに魅了され、夢を書き留めることに熱中していました。それは、タイの現実のひどい状況から逃げる方法だったんだと思います」(A.W.)

カンヌ国際映画祭ある視点部門公式出品 /  
アジア太平洋映画賞最優秀作品賞ほか



〔特別企画〕

### 映画『光りの墓』の前に短編『国歌』上映

タイの映画館では、本編上映前に国歌が流れ、観客が起立する慣習がある。それを独自にアレンジした短編作品『国歌』(The Anthem | 2006 | 5分)を、同様の映画館シーンが印象的な『光りの墓』の前に上映します。



### ここでしか見られないアピチャップン監督の動画上映

2016年の『世紀の光』『光りの墓』日本公開に合わせ、アピチャップン監督から日本のファンに届いたメッセージを各作の前に、シアター・イメージフォーラムでしか上映できない動画です。  
※『世紀の光』は全上映回、『光りの墓』は午前回ののみ  
(タイムテーブルに●印がついている回)

〔上映タイムテーブル〕

当日料金：一般1,500円 / 学生・シニア1,200円 / 会員1,100円

《3回券7/14より発売開始》3回券3,300円 ※上映期間中も販売(数量限定)オンライン予約ではご利用できません。

●印=メッセージ動画上映あり

	8/11 sat	8/12 sun	8/13 mon	8/14 tue	8/15 wed	8/16 thu	8/17 fri	8/18 sat	8/19 sun	8/20 mon	8/21 tue	8/22 wed	8/23 thu	8/24 fri
11:00	世紀●	光り+国歌●	光り+国歌●	光り+国歌●	光り+国歌●	ブンミ	ブンミ	ブンミ						
21:00	ブンミ	ブンミ	ブンミ	ブンミ	光り+国歌●	光り+国歌●	光り+国歌●	世紀●						
	8/25 sat	8/26 sun	8/27 mon	8/28 tue	8/29 wed	8/30 thu	8/31 fri	9/1 sat	9/2 sun	9/3 mon	9/4 tue	9/5 wed	9/6 thu	9/7 fri
11:00	世紀●	世紀●	世紀●	ブンミ	ブンミ	ブンミ	ブンミ	世紀●	光り+国歌●	ブンミ	世紀●	光り+国歌●	世紀●	光り+国歌●
21:00	ブンミ	ブンミ	ブンミ	光り+国歌●	光り+国歌●	光り+国歌●	光り+国歌●	光り+国歌●	ブンミ	世紀●	光り+国歌●	ブンミ	光り+国歌●	世紀●

〔シアター〕  
イメージフォーラム  
03(5766)0114  
www.imageforum.co.jp  
〔指定席・定員入替制〕



渋谷駅より徒歩8分 宮益坂上から  
次の信号スターバックスコーヒー右手入る

【9/17まで開催中】 MAMプロジェクト025：アピチャップン・ウィーラセタクン＋久門剛史 会場：森美術館